令和元年度補正

# 株式会社 堀内果実園

〈事業計画名〉新開発の看板商品をEC販売で通年販売し、感染拡大時でも売上確保



## 通年販売が可能なオリジナル新商品「あんぽ柿」スイーツの量産体制構築

### 事業の背景

#### コロナ禍の影響を抑制する新製品開発

近年、新型コロナウィルス感染拡大による緊急事態宣言による影響は大きく、当社経営の柱である直営カフェは特に人通りの多い立地にある為、売上が落ち込む事態となっていた。

直営カフェの不振による経営全体への影響を抑制する為、もう一方の柱であるECサイト売上の安定・向上を図る必要があったが、ECサイトで安定して通年販売できる看板商品が不足していた事と、直営カフェの客層である“若い女性”向けの商品が無い事で、単純に直営カフェの客層をECサイトへ誘導する事は難しい状況にあった。

そこで、若い年齢層をターゲットにした通年販売が可能な新製品「あんぽ柿バター」の開発を行った。

既に展開しているオリジナル商品の「あんぽ柿ジェラート」は原料が生食可能なA級品であり供給量に限界があったが、「あんぽ柿バター」は潤沢にある規格外品・Sサイズの柿を用いる事で通年生産が可能になる為、本補助事業で量産・製造体制を確立し、新たな看板商品として展開を行う。

### 事業の成果

#### 量産体制構築による作業環境改善

補助事業においては製造工程における機材一式（乾燥機、皮むき器、シール機、金属探知機）を導入。

「あんぽ柿バター」製造の為にはあんぽ柿そのものを量産する必要があり、機材導入以前は乾燥工程・皮むき工程で機材を他果物と共用したり、機材を占領して他加工品の作業をストップさせたりしていたが、機材導入以降は処理能力が向上した事であんぽ柿そのものの製造効率や品質が向上しただけでなく、他加工品も含めた加工・製造工程全体の作業効率が向上した。

特に皮むき工程においては大型の果物は手作業で行っていたが、自動化・機械化となった事で怪我をする危険性も低下し、安全性も向上するという副次効果もあった。

これにより「あんぽ柿バター」の製造体制構築という目標を達成する事ができた。





株式会社堀内果実園の概要

## 六次産業化する120年以上続く農園

当社は1903年の開墾から奈良・西吉野地域の山々で柿を中心とした果樹栽培を専門に行う農家であり、2010年の法人化以降は自社農園で収穫した果物を使用した加工品等の製造や、カフェ運営など六次産業化に力を入れている。

果物の風味豊かさ・完熟・国産・無添加にこだわり、自社内で製造・加工する「あんぽ柿」をはじめとするドライフルーツやコンフィチュール、お菓子は数多くのメディアでも取り上げられ、人気を博している。

また、直営カフェ・店舗は現在4店舗（奈良三条店、グランフロント大阪店、東京スカイツリーソラマチ店、堀内果実園ecute EDITION渋谷店）を展開。いずれも集客力の高いエリアであり、果物の季節性、話題性は当社の大きな強みである。



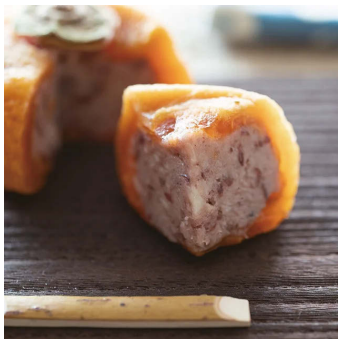












株式会社堀内果実園のあんぽ柿

## 新看板商品「あんぽ柿バター」

柿の国内生産量第2位である奈良県では、柿を原料とする加工品は数多い。当社では福島県発祥と言われる半生の干し柿「あんぽ柿」を独自製法で生産し、自然の旨味を凝縮した味わい・食感に仕上げている。

柿の“乳製品との相性”の良さを活かした「あんぽ柿ジェラート　ほのぼの」はオリジナル商品としてお中元時期の人気商品となったが、この度あんぽ柿ベースの姉妹品として新たにフレーバーバタークリームを詰めた「あんぽ柿バター　惚っ（ぽっ）」を開発し、通年販売可能な看板商品として展開を開始した。

より多くの方に「西吉野のあんぽ柿」を知ってもらう為に、新たなあんぽ柿スイーツの開発も継続中である。

株式会社堀内果実園の地域貢献

## 「道の駅」的な新加工所で地域活性化

当社は当地にて100年以上の歴史があり、地元農家や地域との繋がりが強い為、地域貢献・還元となる事業活動は積極的に行っている。

例えば加工品や直営カフェで使用する果物の一部・野菜・肉類・飲料等は地域で繋がりのある農家や加工業者から仕入れ、地元食材を優先して使用している。直営カフェを各地に展開しているのも、地元PR・地域貢献の一環なのである。

また、地域活性化を目的とした事業として、時期は未定だが、五條北IC近隣に当社加工場の新設を計画している。

新加工場はカフェ・果物狩りハウス・地元事業者の製品も一緒に取扱う直売所等を併設し、いわゆる「道の駅」的な複合施設とする事で他地域からの集客性を高め、雇用創出にも繋げる。

色々な地域から五條市へ来てもって活性化する事が一番の地域貢献であるとして、地元農家と一丸となって調整を進めている。











## 株式会社 堀内果実園

業種分類　農業

事業内容
- 柿を中心とした果樹栽培
- 青果物（果物類）の生産
- 販売と果物を用いた加工品の製造・販売
- カフェの運営

代表者名　代表取締役社長　堀内 俊孝
所在地　奈良県五條市西吉野町平沼田1393番地
連絡先　TEL：0747-20-8013／FAX：0747-20-8014
ホームページ　https://horiuchi-fruit.jp/
E-MAIL　info@horiuchi-fruit.jp